

令和 8 年 9 月末の交通事故の特徴

発生件数	12,530件（－499件）
死者数	69人（＋9人）
負傷者数	15,903人（－654人）
飲酒事故	61件（－11件）

【発生件数】

- 発生件数は12,530件（－499件）で微減
- 高齢者関連事故は4,292件（－268件）で約1割減少
- 1当高齢運転者の交通事故は3,149件（－143件）で微減
- 歩行者関連事故は1,656件（＋130件）で約1割増加
- こども関連事故は447件（－8件）で微減

【死者数】

- 死者数は、69人（＋9人）で約2割増加
- 北九州地区が21人（＋8人）と約6割増加
- 筑後地区が6人（－8人）と約6割減少
- 高齢者の死者数は33人（－2人）で全死者数の約5割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が22人（－1人）と高齢者の約7割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は19人（＋5人）で約4割増加
- 飲酒運転事故死者数は2人（±0人）で横ばい
- 歩行中死者数は23人（－5人）で全死者数の約3割を占める
- 自転車乗用中死者数は10人（＋2人）で約3割増加

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は61件（－11件）と約2割減少
- 筑豊地区が8件（±0件）と横ばい、筑後地区が7件（＋2件）と約4割増加
- 酒気帯び0.25mg/L以上が37件（－15件）と最多
- 6～8時が11件（－4件）と最多
- 令和8年7月21日に施行された道路交通法改正による酒酔い運転の発生は8件

【自転車関連事故】

- 自転車関連事故は1,791件（－189件）と約1割減少
- 福岡地区が1,129件（－78件）で約6割を占める
- 交差点が1,138件（－153件）で約6割を占める
- 10歳代が560件（－74件）で約3割を占める
- 飲酒運転の自転車（第1当事者・第2当事者）の事故は5件（－5件）と5割減少
- 令和8年7月21日に施行された道路交通法改正による酒酔い運転の発生は1件
- ヘルメット着用率は、中学生が36.5%と高く、成人等が12.8%と低い

注1（ ）の数値は、前年同期比

注2 飲酒運転事故は、一般原付以上の運転者（第1当事者）が飲酒していた交通事故